

浜崎アナがテントサウナをPR



雪景色とテントサウナの魅力を語る浜崎アナ

TNCテレビ西日本の浜崎日香里アナウンサーが3月4日、ユーチューブチャンネル「サウナノアナ」の

撮影のため、妹背牛町を訪れました。温泉に入浴した浜崎アナは、コテージ前に設置した

テントサウナに入り、セルフフローリユを満喫。水風呂の代わりに雪原へ飛び込んだ後、雪景色に囲まれながら「サ飯」として、町自慢のご飯と炭火で焼いたジンギスカンを堪能しました。

地域農業をけん引する2人が抱負



道知事感謝状を持つ指導農業者の佐藤さん(右)と農業者に認定された橋向さん

北海道知事感謝状の贈呈を受けた指導農業者の佐藤忠美さんと、町内の女性で初めて農業者に認定された橋向美月さんの2人が2月17日、町役場を訪れました。

「橋向さんは」担い手不足の地域農業を盛り上げることができ、中心的人物」と佐藤さん。地元特産品の製造に取り組み、橋向さんは「妹背牛をはじめ、北空知一円の仲間たちと取り組んできた活動を引き続き頑張りたいです」と話しました。

移住希望者向けの冊子を発行



子育て支援など、移住を促進する施設や制度を紹介した冊子

移住希望者向けの冊子「妹背牛で移住ライフ」が、完成しました。実際の移住者が妹背牛町に移り住んで良かったところを紹介しています。

北海道の情報誌「HO」を発行する「ぶらんとマガジン社」と町がコラボした冊子は、A5判23ページ。自然を満喫できる温泉・宿泊施設やふるさと納税の返礼品としても人気の特産品、子育て支援策や移住に関する助成制度も掲載しています。冊子は、温泉「ペベル」や深川の道の駅などで無料配付中。

小学校で卒業式 22人が巣立つ



新保校長から卒業証書を受け取る卒業生

町立妹背牛小学校で3月17日、卒業式が開かれ、6年生22人が慣れ親しんだ学び舎を巣立ちました。

卒業生は、保護者や在校生の温かい拍手に迎えられて体育館に入場。一人ひとりの名前が呼ばれ、新保秀樹校長から卒業証書を受け取りました。

新保校長は「卒業証書は6年間の努力の証し。未来へのパスポートです。見守ってくれる人への感謝の気持ちを忘れず、これからの道を歩んでください」と式辞を述べました。

新入学児童に交通・防犯グッズ



新保校長（中央）に交通・防犯グッズを届けた向井会長（左）と鈴木会長

妹背牛町交通安全協会（向井敏則会長）と妹背牛町防犯協会（鈴木正彦会長）などは3月6日、町立妹背牛小学校の新入学児童に使うもらう交通・防犯グッズを贈りました。

新1年生に安全な学校生活を送ってもらおうと、黄色い帽子や防犯ブザー、蛍光色の手提げバッグなどを贈呈。この日、向井会長と鈴木会長が同校を訪れ、新保秀樹校長に届けました。

交通・防犯グッズは、4月6日の入学式に新1年生12人に贈られます。

相撲で冬場の体力づくり 保育所



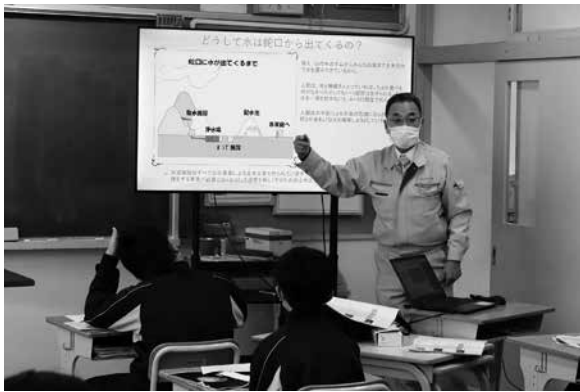
体力向上を目的とした体操教室で、相撲に挑戦する園児たち

認定こども園妹背牛保育所の園児たちの体力づくりを進める本年度最後の体操教室が2月22日、保育所内のホールで開かれました。園児たちは相撲に挑戦し、思いっきり身体を動かしました。

水泳やマット運動など年8回の教室で、旭川市のフジスポーツクラブを主宰する藤井敬久さんが楽しく体を動かす方法を教えています。

相撲の掛け声に合わせ、園児たちは力強く相手を押しつたりしながら、運動を楽しみました。

生活を支える土木の授業



生活に欠かせない水道施設の仕組みについて説明する平野さん

町立妹背牛中学校の1年生15人が2月16日、日常生活や基幹産業の農業と関わる土木の仕事について学びました。

ライフラインを支える公共事業への理解を深める総合学習の一環。近隣の橋補修工事を請け負う「成田工業」（石狩管内新篠津村）の平野俊彦さんが講師を務め、ダムから家庭の蛇口まで水を届ける水道施設の仕組みについて説明しました。

町は2月27日、同社の社会貢献活動に対し、感謝状を贈りました。

札幌の商業施設で特産品の販促



買い物客にジンギスカンのおいしさをPRする地域おこし協力隊員

町は3月11日、13日の3日間、札幌市厚別区の商業施設「C.A.P.O大谷地」で開催された食のイベントに出店し、買い物客に地元の農産物や特産品を売り込みました。

販促活動には、企画振興課の職員と地域おこし協力隊員の計4人が参加。

浅漬けの素「米子ちゃん」で柔らかく仕上げた特産品「妹背牛ラムジンギスカン塩」の試食販売が好評だったほか、お得な妹背牛産米の量り売りも人気を集めました。